

| | | | | | | | |
|---|---|-----|-----|---------|-------|---------------------|-----------------------|
| 授業科目(ナンバリング) | 社会福祉の原理と政策Ⅱ (DA203) | | | 担当教員 | 大島 啓 | | |
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 2単位 | 開講年次・時期 | 2年・後期 | 必修・選択 | 必修 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ ラーニング の類型 |
| <p>本講義の目的は、①社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解できる、②社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を理解できる、③社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解できる、④福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解できるとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解できる、⑤福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解できる、⑥福祉サービスの供給と利用の過程について理解できる、⑦福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解できることである。</p> <p>なお、本講義は、介護福祉士養成における現代社会の基礎的問題を理解し、社会を見つめる感性や現代を生きる人間としての生き方について考える力を養う学習としても位置付ける。</p> | | | | | | | ② |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 |
| 専門力 | 社会福祉、福祉政策、社会政策相互に関係する専門的知識を修得し、それらを社会の様々な生活課題に適用して、解決を図るための条件を説明することができる。 | | | | | ・定期試験 | 70% |
| 情報収集、分析力 | 現代社会の動向や福祉/社会政策の仕組みに関する情報を収集し、それを分析する能力を身につけることで、自己や社会の成長に役立つ知見を指摘することができる。 | | | | | ・定期試験 | 20% |
| コミュニケーション力 | ホスピタリティの精神に基づき、自分の考えを他者に明確に文章で伝えることによって、相互理解を図る営みに参加することができる。 | | | | | ・リフレクションカードにおける質問事項 | 10% |
| 協働・課題解決力 | | | | | | | |
| 多様性理解力 | | | | | | | |
| 出席 | | | | | | 受験要件 | |
| 合計 | | | | | | 100% | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <p>「定期試験」では筆記試験を実施する（評価比率 90%）。穴埋め問題と論述式の設問を出す。定期試験では、現代の社会福祉政策の課題に対応できる基礎知識の理解度が身につけているかを問う。リフレクションカードにおける質問事項（評価比率 10%）では、現代の社会福祉政策の課題に対応できる思考力を確認し、良い質問があれば評価の対象とする。なお質問に関しては、ポートフォリオや授業内で回答する形でフィードバックを行う。</p> | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| <p>講義形式を基本とするが、折に触れて受講者に意見を聞いたり質問したり、ディスカッションを取り入れるので、うまく対応できなくてもよいから素直に発言すること。講義は、指定テキストと毎回配布するレジュメを併用して行う。なお毎授業の最初に、前回授業の復習を目的とする確認テストを行う。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p> | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| <p>教科書：特に指定しない。適宜資料を配布する。</p> <p>参考書：『社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験ワークブック 2022（共通科目編）』（株）中央法規出版 ※教科書では不十分な記述の解説をする際に、参照を求める</p> <p>指定図書：日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『社会福祉の原理と政策』中央法規出版（2021）</p> | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| <p>全国誌新聞の福祉に関する記事を探して読み、日常的に社会情勢に関心を持つこと。トイレ等で席を立つときは、必ず教員に許可を取ること。勝手に教室外に出ることは許可しない。携帯電話の使用は禁止。次ページの「予習・復習」欄に記載されている配布資料の部分を、授業前日までに読んでおくこと。</p> | | | | | | | |

| 回 | テーマ | 授業の内容 | 予習・復習 |
|----|------------------------|---|---|
| 1 | <u>福祉政策におけるニーズと資源①</u> | ニーズの種類と内容、把握方法について説明する。 | 復習：配布資料を再読する。 |
| 2 | <u>福祉政策におけるニーズと資源②</u> | 資源の種類と内容、把握方法、開発方法について説明する。 | 復習：配布資料を再読し、学んだ資源の種類を内容と関連づける。 |
| 3 | <u>福祉政策の構成要素と過程①</u> | 福祉政策の構成要素として、福祉政策の構成要素とその役割・機能、政府、市場（準市場）、事業者、国民（利用者を含む）について説明する。 | 予習：準市場について調べる。 復習：配布資料の再読。 |
| 4 | <u>福祉政策の構成要素と過程②</u> | 福祉政策の構成要素として、措置制度や、多元化する福祉サービス提供方式について説明する。 | 予習：多元化する福祉サービス提供方式を調べる。 復習：配布資料の再読。 |
| 5 | <u>福祉政策の構成要素と過程③</u> | 福祉政策の過程として、政策決定、実施、評価、福祉政策の方法、手段について説明する。 | 予習：政策決定、実施、評価の関係について調べる。 復習：配布資料の再読。 |
| 6 | <u>福祉政策の構成要素と過程④</u> | 福祉政策の過程として、福祉政策の政策評価、行政評価、福祉政策と福祉計画について説明する。 | 予習：福祉政策と福祉計画について調べる。 復習：配布資料の再読。 |
| 7 | <u>福祉政策の動向と課題①</u> | 福祉政策と包括的支援という観点から、社会福祉法、地域包括ケアシステム、地域共生社会について説明する。 | 復習：配布資料を再読する。 |
| 8 | <u>福祉政策の動向と課題②</u> | 福祉政策と包括的支援という観点から、多文化共生と持続可能性（SDGs等）について説明する。 | 復習：配布資料を再読する。 |
| 9 | <u>福祉政策と関連施策</u> | 関連政策として、保健医療政策、教育政策、住宅政策、労働政策、経済政策について説明する。 | 復習：配布資料を再読する。 |
| 10 | <u>福祉サービスの供給と利用過程①</u> | 福祉供給部門の観点から、公的部門（政府・地方公共団体）、民間団体（営利・非営利）について説明する。 | 復習：配布資料を再読する。 |
| 11 | <u>福祉サービスの供給と利用過程②</u> | 福祉供給部門の観点から、ボランティア部門、インフォーマル部門、部門間の調整・連携・協働について説明する。 | 予習：ボランティア/インフォーマル部門を調べる。 復習：配布資料の再読。 |
| 12 | <u>福祉サービスの供給と利用過程③</u> | 福祉供給過程の観点から、公私（民）関係、再分配・割り当て、市場、準市場について説明する。 | 予習：割り当て概念について調べる。 |
| 13 | <u>福祉サービスの供給と利用過程④</u> | 福祉供給過程の観点から、福祉行財政、福祉計画、福祉開発について説明する。 | 復習：配布資料を再読する。 |
| 14 | <u>福祉サービスの供給と利用過程⑤</u> | 福祉利用過程の観点から、スティグマ、情報の非対称性、受給資格とシティズンシップについて説明する。 | 予習：情報の非対称性について調べる。 復習：配布資料の再読。 |
| 15 | <u>福祉政策の国際比較</u> | 福祉政策の国際比較の観点から、国際比較の視点と方法、福祉政策の類型（欧米、東アジアなど）について説明する。 | 予習：福祉政策の類型について調べる。 復習：配布資料の再読。 |
| 16 | 定期試験 | | 定期試験の準備 |